

平成29年度 指導方法等の改善計画について〔国語〕

廿日市市立四季が丘中学校

昨年度の課題と具体的に取り組んだ事項

【昨年度の課題】

- 段落相互の関係が把握できていない。(53.5%)
- 題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものととして適切なものを選択する問題において、文字の形や大きさ、配列などを考えて選択できていない。(39.4%)

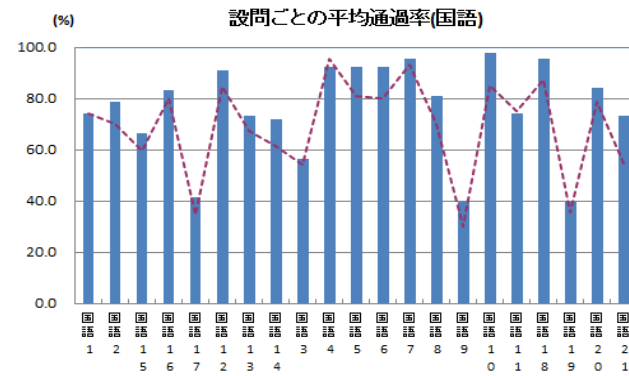
【取り組んだ事項】

- 説明的文章の読解において、各段落の要点を読み取らせ、段落相互の関係を把握させながら文章全体の要旨をまとめさせる学習を繰り返すことで定着を図る。
- 暑中見舞いや年賀状、お礼の手紙等の指導を通して、文字の形や大きさ、配列に注意して書かせることを意識させ定着を図る。

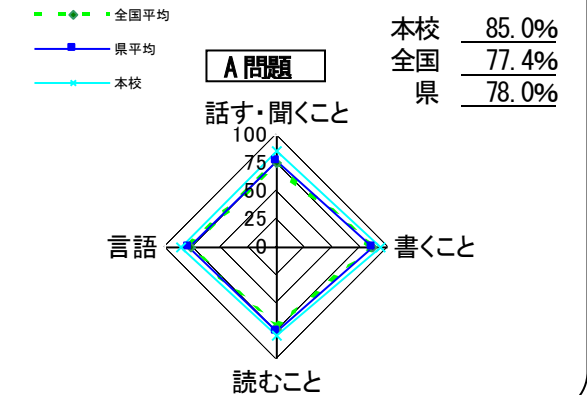
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率			
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	75.8%	76.5%	73.0%
県	69.2%	70.4%	64.0%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率		
	A問題	B問題
本校	85.0%	81.0%
全国	77.4%	72.2%
県	78.0%	73.0%

「基礎・基本」定着状況調査結果から



全国学力・学習状況調査結果から



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎目的に応じて資料を読み、具体例を挙げながら要旨を把握する問題において、具体例を挙げることができず、「再生可能なエネルギーとは」に対して、「永続的に利用できるもの」という主述の表現も書けていない。(39.3%)

◇話し合いの記録として適切な言葉を考える問題において、「結論がまだ出ていない」、「あとでもう一度話し合う」という状況を表す言葉など事象や行為を表す言葉が書けていない。(42.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎説明文の指導において、各段落の内容の読み取りに重点を置き、段落ごとに要約させる学習を繰り返すことで必要に応じて要旨を把握できる力の定着を図る。また、具体例があることで、わかりやすく理解しやすい説明になっていることに気づかせ、具体例の持つ役割についても理解させる。

◇毎時間の授業で、「語彙の獲得コーナー」の時間を設け、事象や行為を表す言葉についての意味の確認や対義語や類義語、短文作りなどに取り組み定着を図る。

来年度の目標値

「基礎・基本」定着状況調査の「要旨を把握する問題」の正答率を60%以上。「全国学力・学習状況調査」の「事象や行為を表す問題」の正答率を60%以上。

中間検証①(H29.12)

中間検証②(H30.2~3)

最終検証(H30.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値
説明文の指導において、各段落の内容の読み取りに重点を置き、段落ごとに要約させる学習を繰り返すことで必要に応じて要旨を把握できる力の定着を図る。	1年	二学期期末テストにおいて要旨の把握の問題の平均正答率	50%以上			学年末テストにおいて要旨の把握の問題の平均正答率	55%以上			「基礎・基本」定着状況調査において、「要旨の把握」に関する問題の平均通過率	60%以上	
毎時間の授業で、「語彙の獲得コーナー」の時間を設け、事象や行為を表す言葉についての意味の確認や対義語や類義語、短文作りなどに取り組み定着を図る。	2年	二学期期末テストにおいて事象や行為を表す言葉を書く問題の平均正答率	50%以上			二学期期末テストにおいて事象や行為を表す言葉を書く問題の平均正答率	55%以上			「全国学力・学習状況調査」において、「事象や行為を表す問題」の平均通過率	60%以上	

平成29年度 指導方法等の改善計画について [数学]

廿日市市立四季が丘中学校

昨年度の課題と具体的に取り組んだ事項

【昨年度の課題】

- 比較量の理解が不十分であり、数量の関係を、文字を用いた式で正しく表現することができない。
- グラフの傾きを事象に即して解釈することが不十分である。

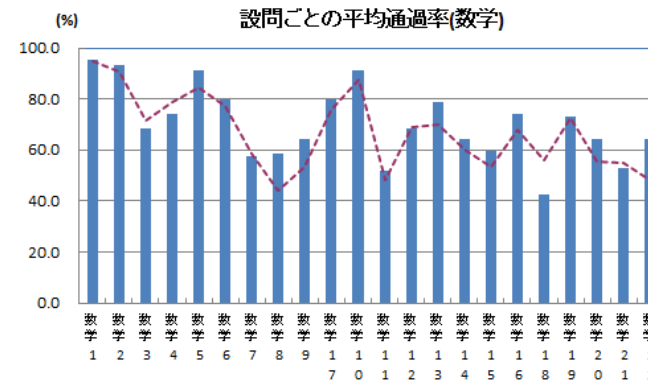
【取り組んだ事項】

- 問題文の文脈をとらえて数量関係を線分図や表等で表し、式を作ることを、系統的に指導していく。
- 関数の活用問題場面で、意識的にグラフの利用を促したり、グラフを読み取る問題の工夫をし、グラフの活用に十分慣れさせていく。

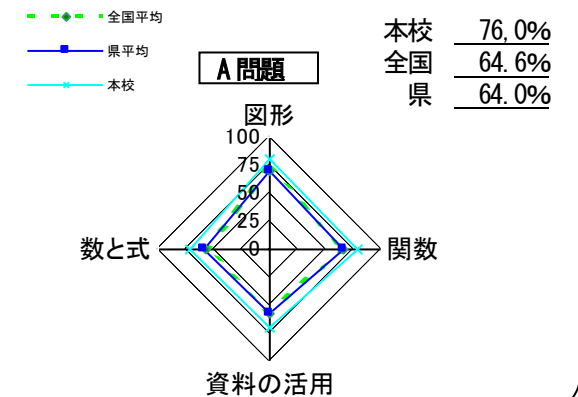
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率			
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	70.3%	73.5%	59.3%
県	66.9%	69.7%	57.4%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率		
	A問題	B問題
本校	76.0%	56.0%
全国	64.6%	48.1%
県	64.0%	48.0%

「基礎・基本」定着状況調査結果から



全国学力・学習状況調査結果から



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 平面図形の作図において、条件に当てはまる作図の根拠の理解が不十分である。(10 42.7%)
- ◇ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。(5 (3) 33.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 垂直二等分線や垂線、角の二等分線等、基本の作図の手順と意味を理解し、その性質をもとにして作図の利用における根拠を説明できるように指導していく。
- ◇ 資料の傾向の読み取りについての学習を、2学年3学年でも指導計画の中に取り入れ、繰り返し指導していく。生徒が興味を持つことのできるような教材を開発したり、資料から読み取った根拠を明らかにして説明し合う場を授業の中に設けたりする。

来年度の目標値

「基礎・基本」定着状況調査の作図の根拠を説明する問題で平均通過率を70%以上、全国学力・学習状況調査の資料の蛍光の読み取りに関わる問題の平均通過率を50%以上とする。

中間検証①(H29.12)

中間検証②(H30.2~3)

最終検証(H30.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標 (方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標 (方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標 (方法)	到達目標値	実施後数値
垂直二等分線や垂線、角の二等分線等、基本の作図の手順と意味を理解し、その性質をもとにして作図の利用における根拠を説明できるように指導していく。	1, 2年	2学期期末テストにおいて類似問題の平均正答率	60%以上			学年末テストにおいて類似問題の平均正答率	65%以上			「基礎・基本」定着状況調査の作図の根拠の説明する問題の平均通過率	70%以上	
資料の傾向の読み取りについての学習を、2, 3学年でも繰り返し指導していく。生徒が興味を持つことのできるような教材を開発したり、資料から読み取った根拠を明らかにして説明し合う場を授業の中に設けたりする。	2, 3年	2学期期末テストにおいて類似問題の平均正答率	45%以上			学年末テストにおいて類似問題の平均正答率	50%以上			「全国学力・学習状況調査」において、「資料の傾向の読み取りに関わる問題」の平均通過率	50%以上	

平成29年度 指導方法等の改善計画について [理科]

廿日市市立四季が丘中学校

昨年度の課題と具体的に取組んだ事項

【昨年度の課題】

- 物理分野での知識・技能の定着率が低い。特に作図技能の定着率が低い。
- 地学分野の科学的思考に課題が見られる。

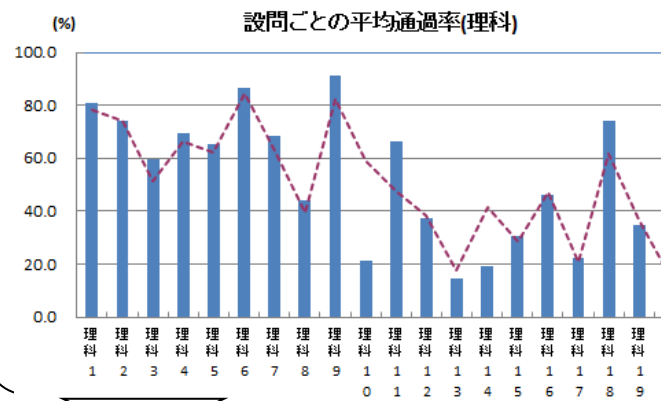
【取組んだ事項】

- 物理分野の小テストを小单元ごとに実施する。また、作図問題に繰り返し取り組ませる。
- 地学分野において、科学的思考を深める探究活動に取り組ませる。

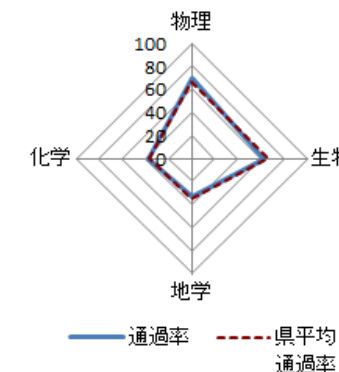
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率			
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	50.6%	52.9%	47.1%
県	50.8%	54.5%	45.3%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率	
本校	%
全国	%
県	%

「基礎・基本」定着状況調査結果から



領域別平均通過率(理科)



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 地学分野の知識・技能の定着率が低い。
(タイプI 本校通過率：40.8%，県平均：42.5%)
(示準化石 本校通過率：19.1%，県平均：41.6%)
- ◎ グラフや図を読み取り、情報を整理し、分析したり根拠を説明したりすることに課題が見られる。
(砂岩と判断する根拠 本校通過率：14.6%，県平均：17.5%)
(状態変化のグラフ 本校通過率：5.6%，県平均：16.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 授業の始めに、フラッシュカードや復習プリントを繰り返し行い、知識・技能の定着を図る。また、单元ごとに小テストを実施する。
- ◎ 各单元で探究活動を取り入れる。その際、レポートを作成させ、情報を整理・分析したり、仮説や結果から考えられることを根拠を明確にしながら説明させたりする活動を取り入れる。また、考え表現する時間をしっかりと設け、文章や言葉で考えを他者に伝えたり、自分の考えと比較し再考する場を設定する。

来年度の目標値

「基礎・基本」定着状況調査において、タイプIの設問の平均通過率を60%以上、タイプIIの設問の平均通過率を55%以上にする。

中間検証①(H29.12)

中間検証②(H30.2~3)

最終検証(H30.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値
授業の始めにフラッシュカードや復習プリントを繰り返し行い、单元ごとに小テストを実施する。	1, 2年	定期テストにおいて知識・理解の問題の平均正答率	60%以上			定期テストにおいて知識・理解の問題の平均正答率	65%以上			「基礎・基本」定着状況調査のタイプIの問題の平均通過率	60%以上	
情報を整理・分析したり、根拠を明確にしながら説明するような課題に取り組ませる。	1, 2年	定期テストにおいて科学的思考の問題の平均正答率	55%以上			定期テストにおいて科学的思考の問題の平均正答率	60%以上			「基礎・基本」定着状況調査のタイプIIの問題の平均通過率	55%以上	

平成29年度 指導方法等の改善計画について〔英語〕

廿日市市立四季が丘中学校

昨年度の課題と具体的に取組んだ事項

【昨年度の課題】

- 情報を基に、それに関連する質問を考え、その英文を書く力が不十分である。
- 英文を読んで、情報をもとにその概要や要点を理解する力が不十分である。

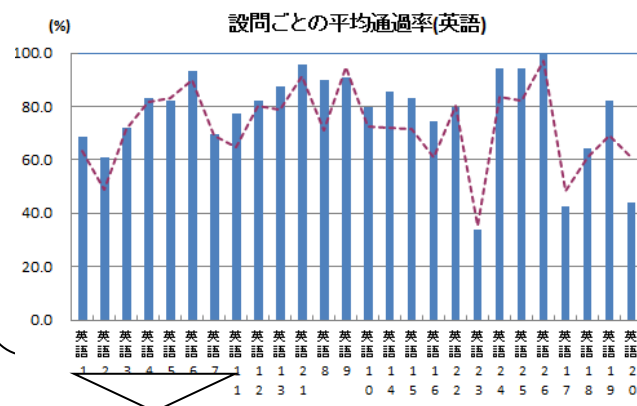
【取組んだ事項】

- 英文の読み取り後に、内容に関連する疑問文を作らせる活動を行う。
- 帯学習等で、Q&Aの活動をさせる。既習事項を用いて、時制に注意して答えさせる。

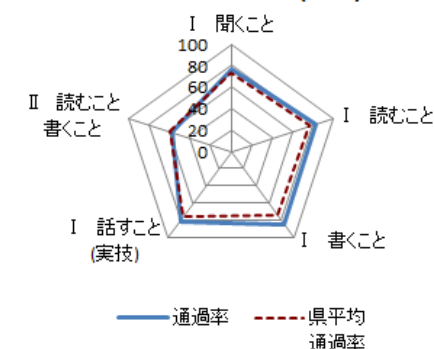
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率

	教科全体	タイプI	タイプII
本校	77.3%	80.8%	58.1%
県	72.4%	74.7%	59.9%

「基礎・基本」定着状況調査結果から



領域別平均通過率(英語)



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎ 根拠となる英文を読み取る力が不十分である。
(本校通過率：42.7% 県平均：48.4%)
- ◎ まとまりのある一貫した英文書く力が不十分である。
(本校通過率：43.8% 県平均：61.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 教科書の本文などを読み取らせる時に、Q&Aを工夫し、理由や根拠となる英文を抜き出させる。
- ◎ 書く活動を行う際には、2～3文以上のつながりのある英文を書かせる指導を行う。テーマに沿って書く場合には、文章の構成例を示し、内容を一貫させる。

来年度の目標値

「基礎・基本」定着状況調査において、「根拠となる英文の読み取り」の平均通過率を60%以上にする。
「基礎・基本」定着状況調査において、「まとまりのある一貫した英語の文章を書く」の平均通過率を60%以上にする。

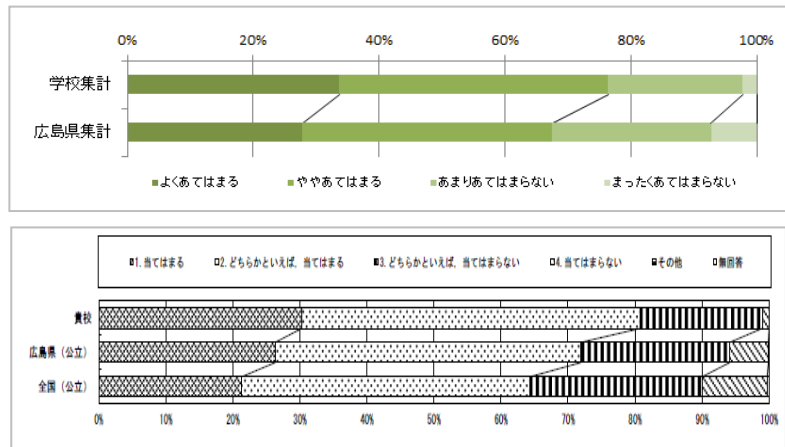
中間検証①(H29.12)

中間検証②(H30.2～3)

最終検証(H30.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値
教科書の本文などを読み取らせる時に、Q&Aを工夫し、根拠となる英文を抜き出させる。またその際に、根拠を複数あげさせる。	1, 2年	自作の検証問題の平均正答率	50%以上			自作の検証問題の平均正答率	55%以上			「基礎・基本」定着状況調査において、「根拠となる英文の読み取り」の平均通過率	60%以上	
書く活動を行う際には、2～3文以上のつながりのある英文を書かせる指導を行う。テーマに沿って書く場合には、文章の構成例を示し、内容を一貫させる。	1, 2年	自作の検証問題の平均正答率	50%以上			自作の検証問題の平均正答率	55%以上			「基礎・基本」定着状況調査において、「まとまりのある一貫した英語の文章を書く」の平均通過率	60%以上	

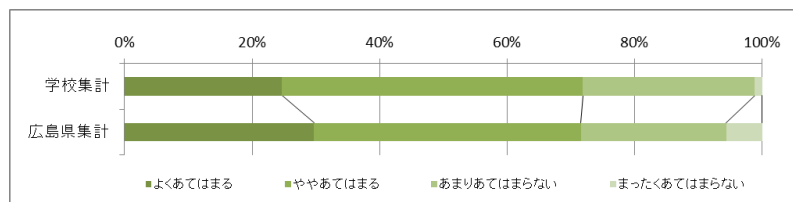
(1) 生活・学習



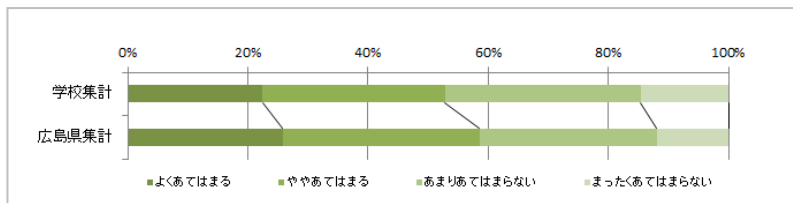
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの幅
基礎・基本	「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」(よくあてはまる評価：33.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間だけでなく、全ての教科において、課題発見・解決学習の単元計画を作成し、生徒主体の学習となるよう工夫する。 総合的な学習の時間や全教科で課題発見・解決学習を実施する。 	2	40%	生徒アンケート調査	2学期末		
全国	「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいますか。」(そう思う評価：30.3%)		3	40%	生徒アンケート調査	2学期末		

(2) 教科

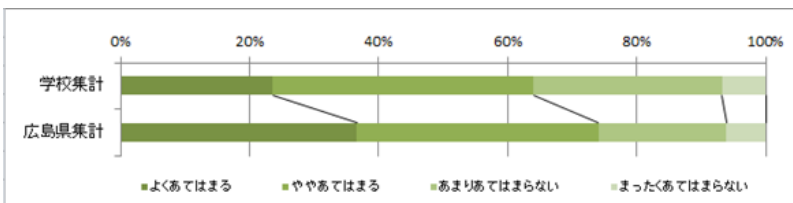
段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。



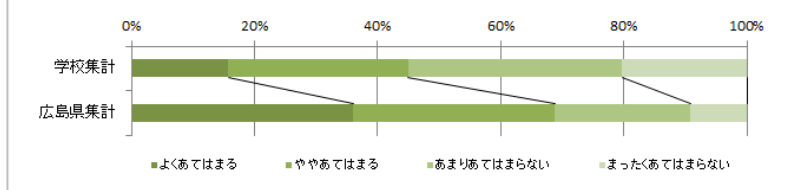
式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業はよく分かります。



英語の授業では、学んだことの振り返りをしています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの幅
国語	基礎・基本	「段落と段落のつながりや文章の組み立てに注意して読んでいます」についての肯定的評価が低い。(よくあてはまる評価24.7%)	2	40%以上	生徒アンケート調査を実施する	2学期末		
	全国	「国語の授業の内容がよくわかりますか」についての肯定的評価が低い。(当てはまる30.3%)	3	40%以上	生徒アンケート調査を実施する	2学期末		
数学	基礎・基本	「式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています」についての肯定的評価が低い。(よくあてはまる評価22.5%)	2	40%以上	生徒アンケート調査を実施する	2学期末		
	全国	「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」の肯定的評価が低い。(よくあてはまる評価17.2%)	3	40%以上	生徒アンケート調査を実施する	2学期末		
理科	基礎・基本	「理科の授業はよく分かります。」について、肯定的評価が低い。(よくあてはまる評価23.6%)	2	40%以上	生徒アンケート調査	2学期末		
英語	基礎・基本	「英語の授業では、学んだことの振り返りをしています。」(よくあてはまる評価15.7%)	2	50%以上	生徒アンケート調査	2学期末		